

3M 製品説明書

Product Bulletin KJM3200MC

Revision 1, Dated May 2009

KJM3200MC

溶剤系インクジェット用 易施工 白色メディア

定義

溶剤系インクジェット用易施工白色メディア
KJM3200MCは、溶剤インクジェットプリンタで作画する屋内外サイン用途等のインクジェット作画媒体です。

特徴

- 貼付時の巻き込みエアを逃がす、＜コンプライ＞パフォーマンスを有しているため、貼付作業性が格段に向上します。
- 非常に細かい＜コンプライ＞パターンの為、表面にグリッドが見えづらくなっており、きれいな仕上がりを要求されるアプリケーションに最適です。
- 耐候性において実績のある＜スコッチカル＞フィルムをベースとしたフィルムです。
- 溶剤インクジェットプリンタで印刷することにより、高画質のグラフィック作成が可能です。
- 表面は光沢感があります。

使用用途例

屋内外サイン等

耐候性、耐久性 および

推奨オーバーラミネートフィルム

日本国内の標準的な環境下で屋外垂直面のサインに施工した場合に、以下の耐候性を有しています。

オーバーラミネートフィルム	耐候性
IJ4116N/IJ4117N	約4年

- 耐候性の数値は弊社試験の結果に基づく予測される年数であり、保証年数ではありません。
- インク自体に耐候性を有する場合に限りです。
- 施工方法や使用環境により、この値より短くなる場合があります。

製品特性

作画面表巻きのロール状製品。

サイズ	1270mm×20m、3 インチコア* 1270mm×50m、3 インチコア* *両側4ノッチ(切欠き付)厚手コア使用。 プリンタ機種によってはフランジ爪のグリップが不十分で、ロール脱落の恐れがあります。 コア内部ノッチ部分への厚手シート貼り付けによりご対処下さい。
材質	ポリ塩化ビニルフィルム
フィルム色	白色(不透明)
重量	代表値 123g/m ² (剥離紙含まない)
厚さ	代表値 0.080mm(粘着剤含む)

粘着剤	感圧型パーマネントタイプ アクリル系
貼付温度	10～38℃(平滑面)
接着力	アルミニウム板 15N / 25mm 以上 (未印刷、貼付後 48 時間放置)

試験方法:

フィルム厚:JIS K 7130 に準ずる。

接着力:JIS Z 0237 に準ずる。

特性における数値は、原則として温度20℃・湿度65%での試験結果を基にしています。

防火材料の取り扱い

弊社にて取得した防火材料の認定品は建築基準法第2条の9及び同法施行令第108条の2(不燃材料)の規定に適合するものと認められた製品です。本製品と左記推奨オーバーラミネートフィルムとの組み合わせにおいて、不燃性能を有します。(但し、インク種類に関しても指定されますので、別途お問合せ下さい。)

認定番号

建設省告示1400号に記載された不燃材の内、種類によって以下の認定番号があります。

種類	認定番号
金属板	NM-0661
金属板を除く	NM-0660

シックハウス対策に係わる技術基準

建築基準法第28条の2で定める規制対象の化学物質はクロルピリホス及びホルムアルデヒドです。クロルピリホスは使用禁止、ホルムアルデヒドは夏季(28℃)において建築材料の表面1m²1時間当たりにつき発散するホルムアルデヒドの量によって第1種、第2種、第3種の3区分に分けられ、粘着剤付きフィルム製品の場合、規制対象の建築材料の内、壁紙の分類に当てはまり、内装の仕上げとして使用する場合に面積制限を受けます。但し、ホルムアルデヒドの発散速度が0.005mg/m³h以下の建築材料に関しては、内装の仕上げとして使用する場合、面積制限を受けません。本製品と左記推奨オーバーラミネートフィルムとの組み合わせにおいて、面積制限を受けない性能を有します。(但し、インク種類に関しても指定されますので、別途お問合せ下さい。)

認定番号	等級
MFN-0205	F☆☆☆☆

ご使用に際しての注意事項

■ 印刷

- 作画品質を維持するために、ご使用プリンタの取扱説明書及び技術説明書に従って出力を行ってください。
- 環境(ほこりや潤滑スプレーの使用等)、インク条件により、スポット状の印刷抜けが発生することがあります。特に、ベタ印刷の場合、発生が目立ちます。印刷環境管理、インクの鮮度管理に充分ご配慮下さい。
- 印刷前のメディア表面には指紋、汚れ、傷がつかないようにして下さい。取り扱い時には綿製の手袋等をご使用になる事をお勧めいたします。また、表面を液体等などで洗浄しないで下さい。印刷性に大きな影響が出ます。
- 予め実際に印刷を行い、発色及び乾燥性を確認の上御使用下さい。インク濃度が高く印刷後乾燥が充分でない状態で巻いた場合、印刷面が裏面に密着し、画像にダメージを与えることがあります。可能であれば250%を濃度の上限としてデータを準備下さい。

■ 加工

- 印刷後は十分にインクを乾燥させてください。乾燥不足の場合、フィルムの収縮や十分な接着力が得られない危険性があります。乾燥はメディアを広げた状態で1日程度室温下で放置してください。長尺品の場合は、印刷面が剥離紙面に接触しないようにゆる巻きにし、風通しの良いところで乾燥を行ってください。オーバーラミネートフィルムを貼る前も、同様に十分にインクを乾燥させてください。
- 乾燥時は、溶剤蒸気に引火しないよう、発火源(モータ等電化製品含む)から離してください。さらに、溶剤蒸気が充満すると健康被害を起こす可能性が有りますので、換気を行ってください。
- オーバーラミネートフィルムを貼った場合、色相等が多少変化することがあります。予め発色をご確認の上、印刷色を設定して下さい。
- 故意に強く印刷面を擦った場合、インクが剥がれることがありますのでご注意ください。

■ 施工

手順1;貼り付け下地への施工可否判断

- 平面だけでなく、2次曲面や緩やかな3次曲面にも施工可能です。
- 使用期間を想定した試験施工を一定期間*1実施し、外観異常(浮き、剥がれ、変色等の有無)がないことを確認し判断して下さい。
- 下記下地へは施工できません。

下地種類	施工不可理由
ポリカーボネート(PC)	気泡発生
ポリエチレン(PE)	接着不足
ポリプロピレン(PP)	接着不足
銅、真鍮、スズ	粘着剤変質
シリコンコーキング	接着不足、追従不足
ゴム	ゴム成分移行による変色
コルゲート、リベット	追従不可
ガラス	外観異常(収縮、剥がれ等)
石油類*2が滞留する箇所	外観異常(膨潤、剥がれ等)
常時 65℃以上の高温	耐候性低下、変色

*1使用期間と同期間もしくは半分の期間、または夏など気象条件として過酷な時期

*2ガソリン、軽油、灯油、アルコール類等も含む

手順2;下地調整

下地に付着した土砂、錆、油脂分等フィルムの接着力を低下させる物質の除去を実施して下さい。下地の状況により、主に以下の3種類の方法があり、状況によって最適な方法を実施して下さい。

- 水清掃
- IPA(イソプロピルアルコール)等のアルコール清掃
ケレン及び下地処理(プライマー塗布等)

手順3;貼り付け

- プラスチックスキージー(弊社製PA-1等)を使用し、フィルムを十分に貼り付け下地に圧着して下さい。本製品は直貼り施工を実施してください。水貼りは推奨いたしません。

施工時の注意事項

- 貼り付け基材面温度が10℃以下の場合、十分な初期接着力が得られません。貼り付け下地が貼り付け温度範囲内であることを確認し施工して下さい。
- 結露しやすい箇所は、十分な接着力が得られないことがあります。

■ グラフィックスのメンテナンス

- グラフィック表面を洗浄する場合、研磨剤を含まない中性の洗浄液で水洗いして下さい。
- 推奨オーバーラミネートフィルムにて表面が保護されたグラフィックスは IPA(イソプロピルアルコール)による表面清掃が可能です。但し、グラフィックス端部に IPA が残留しないように十分にふき取って下さい。
- 土砂等の汚れがついたまま、表面を拭くとオーバーラミネートフィルムに傷が付くことがあります。洗浄は最初表面に付着した粒子分を水洗等で取り去り、その後、表面を軽く拭き取る程度にして下さい。
- 一度掲示したものを剥がし、再度掲示する事はおすすめていたしません。

■ 剥離

- 本製品は再剥離性能を有しておりません。
- 剥離の際にはまず加熱し、可能な範囲で剥がすことお勧めいたします。(粘着剤は残ります。)
- 加熱しても剥離できない場合には剥離剤(弊社製R221等)を使用して下さい。
- 残留した粘着剤はその量に応じて、IPA(イソプロピルアルコール)もしくは剥離剤(弊社製R231等)をご使用ください。

■ 保管/運搬

- 鋭角に折り畳んだ場合、画像にダメージが発生することがあります。また、フィルム面を内側にして巻いた場合、ポップオフ(剥離紙からの浮き)が発生しやすいため、移送の場合には、直径 15 センチ程度のコアに画像を外側にして緩やかに巻いて下さい。
- 保存期間は 1 年間ですが、購入から半年以内のご使用をおすすめいたします。
- 以下の条件で保管して下さい。
 - ▶ 開梱しない状態、または初期の包装状態。
 - ▶ 直射日光のあたらない、温度 38°C 以下、湿度 20~70%の屋内で、結露を避けて下さい。ロールを積み重ねたり、部分的な圧力がかかったり、重量物を載せることは避けて下さい。
 - ▶ 使用後は速やかにプリンタから取り外し、元の袋に入れ、湿気が入らないようにして保管して下さい。

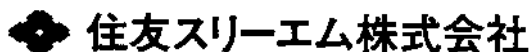
免責事項

- ここで用いている数値は平均的なものであり、保証値ではありませんので規格等の作成には使用できません。
- 予告なく改良の為製品仕様を変更する場合があります。
- 廃材は産業廃棄物として処理して下さい。
- 本製品が明らかに不良であると証明された場合は良品と交換にて対応致します。それ以外の責に対してはご容赦願います。
- この説明書の内容については十分信頼できるものと確信しております。しかしながら、この情報によってもたらされる利益・損害等に対し、いかなる保証も規定するものではありません。
- この説明書もしくは本件フィルムの使用・使用不能もしくは誤使用によって生じるあらゆる損失・損害に対し、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

この説明書の著作権は弊社に属します、よって、無断複製、引用等を禁じます。

その他不明な点につきましては、弊社担当販売員にお問い合わせ下さい。

<3M>、<コンプライ>は3M社の商標です。



住友スリーエム株式会社

コマースシャルグラフィックス事業部

〒158-8583 東京都世田谷区玉川台 2-33-1

<http://www.mmm.co.jp/cg/>

人がいる。夢がある。 **3M**